

第43回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和7年2月7日（金） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：4)	委員 長	中 出 孝 典	(富山大学名誉教授)
	委員	内 田 慎 哉	(富山県立大学工学部准教授)
	委員	佐 藤 綾 子	(富山国際大学現代社会学部教授)
	委員	下 坂 久美子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和6年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和6年度上半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和6年度上半期の予定価格及び入札方式別落札率について 令和6年度上半期の一者入札について 令和6年度上半期の総合評価方式の試行結果について ④ 令和6年度上半期の低入札価格調査制度及び最低制限価格制度対象工事の状況について ⑤ 令和6年度上半期の指名停止の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和6年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽 出 事 案	10件（審議対象工事総件数：910件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 富山県立砺波工業高等学校長寿命化改修（第3期）
	2億円以上	1件	(事案2) 神通川左岸流域下水道県単独神通川左岸浄化センター汚泥溶融炉設備修繕
	2千万円以上	3件	(事案3) 一般国道304号道路橋りょう改築梨谷トンネル照明設備修繕その2 (事案4) 主要地方道宇奈月大沢野線道路橋りょう改築湯毘谷橋再塗装 (事案5) 基幹水利施設 庄西2期地区 太田口用水路第1工区
指名競争入札	4件	(事案6) 伏木富山港（伏木地区）ふ頭用地災害復旧万葉3号野積場災害復旧 (事案7) 6年災第147号神通川水系松川河川災害復旧護岸工 (事案8) 伏木富山港（富山地区）港湾予防保全臨港道路岩瀬線消雪施設補修 (事案9) 県単独治山「八幡」海岸防災林造成	
随意契約	1件	(事案10) 大長谷第四発電所水車発電機修繕及び水車制御盤等更新	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和6年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案2の工事は一者入札。受注者以外の他の事業者が入札に参加する余地はあったか。</p>	<p>難易度の高い工事であるが、当該受注者を含め、入札に参加可能な業者は全国で21者である。</p>
<p>○事案5の工事について、総合評価の項目となっている「県内企業の活用」は、具体的にどのような内容か。</p>	<p>県内の建設業が将来にわたりしっかりと存続できるように、下請負契約においても県内企業が優先的に選定されるよう定められているものであり、一次下請の企業が全て県内企業となる場合に評価を行うもの。</p>
<p>○事案6の工事について、15者中11者が辞退しており、能登半島地震の影響により、辞退者が多くなっていると考えられる。地理的条件に留意して、県西部の業者を指名しているが、県東部の業者を指名する必要はないか。</p>	<p>現時点では、一定の応札者数を確保できており、県東部の業者を指名する段階ではないと考えている。</p>
<p>○事案7の工事について、16者中13者辞退しているが、何故か。</p>	<p>辞退理由については把握していないが、当該地域で多くの工事が発注された時期であり、また、ノンステージング工法を採用した技術的に高度な工事であるため、手持工事量及び技術者の確保等を勘案されたものと考えている。</p>
<p>○事案8の工事について、2度の入札で全業者の入札金額が予定価格を超過しているが、予定価格が実情に合った価格になっていないのではないか。</p>	<p>物価の上昇等に合わせて、資材単価の見直しを行っているが、実勢価格との間にタイムラグがあることも要因の1つと考えている。</p>
<p>○事案10の工事について、随意契約とした理由は。</p>	<p>本発電所の水車発電機は日立三菱水力株式会社が製作したものだが、取替部品の製作等にはメーカー独自の技術が必要である。同メーカーの保守部門である当該受注者でなければ本工事の施工が困難であるため。</p>